



日本共産党杉並区議会議員

週刊

こんにちは こうへい 山田耕平 です

2022.6.2 No.446

このニュースへのご感想
ご意見をお寄せください!

杉並区善福寺2-2-11
TEL 090-9973-0941
ホームページ
<http://yamadakohei.jp>

右QRコードを
ご活用下さい



補助132号線（西荻地域の道路拡幅）等の陳情を審査 6千筆の署名を不採択 議会の責任が問われる

住民の陳情を3年間放置 党区議団が審査を再開

5月31日、杉並区議会都市環境委員会が行なわれました。本委員会では、西荻の道路拡幅問題や阿佐谷の駅前再開発に関わる重大な陳情審査が実施されました。いずれの陳情も歴代の都市環境委員長（公明・自民・公明）が審査しなかったため、3年間塩漬けにされていたものです。

今年度は党区議団が委員長（富田区議）を務めることになり、一気に審査を再開させました。陳情者の補足説明では、2019年に陳情を出したのにも関わらず、3年以上も塩漬けにした杉並区議会への怒りの声が出されました。

立ち退きを迫られる住民 切実な思いを訴える

補助132号線（西荻の道路拡幅）の陳情審査では、道路計画中止を求める近隣住民が6140名の署名を集めたことが報告され、住民は全く納得しておらず「なぜ、道路を拡げる必要があるのか？」等の切実な声が次々と紹介されました。



用地買収が開始され、一部空き地となった道路計画予定地。

一方、北委員（公明）は「道路計画があることが分かっている住んでいる。長く住むことで離れたくなる」と等と発言。まるで、道路計画用地に暮らす住民に責任があるかのように発言しました。

杉並区土地開発公社保有地一覽表 （令和4年3月18日） ※杉並区土地開発公社は杉並区の公園や道路、その他の公共用地を先行取得するために設立されている。

区分	用地名(所在)	取得年月日	面積 (㎡)	契約金額 (千円)
道路用地	都市計画道路補助132号線事業用地 (西荻北五丁目270番9)	令和3年4月3日	213.23	588,693 (内訳) 土地売買代金 171,544 移転補償費等 417,149
	都市計画道路補助132号線事業用地 (西荻北三丁目109番18)	令和3年9月23日	29.19	62,526 (内訳) 土地売買代金 21,951 移転補償費等 40,575
	都市計画道路補助132号線事業用地 (西荻北五丁目123番12)	令和3年11月10日	40.90	56,110 (内訳) 土地売買代金 29,753 移転補償費等 26,357
	都市計画道路補助132号線事業用地 (西荻北二丁目117番9、7)	令和3年11月15日	31.12	45,915 (内訳) 土地売買代金 23,350 移転補償費等 22,565
	都市計画道路補助132号線事業用地 (善福寺一丁目196番4)	令和4年2月28日	52.04	130,945 (内訳) 土地売買代金 38,869 移転補償費等 92,076

都市計画道路補助132号線事業用地
土地売買代金 2億8546万円余
移転補償費等 5億9872万円余
合計 8億8418万円余
※道路用地として8億8千万円以上を投入。

党区議団は採択を主張

多くの都市計画道路は、戦災復興としてS22年に都市計画決定されていますが、計画決定は大本帝国憲法下の旧法に基づいており、住民意見の聴取等の手続きは一切実施していません。さらに、当時と異なり、現在は完成された住宅街が立ち並ぶ地域に対して、行政が住民合意も無く、道路整備を事業化し、大規模な立ち退きを迫ることに道理はありません。

陳情への各党派賛否では、日本共産党杉並区議団は、莫大な税金投入の問題を指摘し（右表）、6千筆を超える住民の思いを受け止め道路計画を中止するよう求め、採択を主張しました。一方、他会派は「道路拡幅は必要」として不採択を主張。賛成少数で不採択となりました。6140名からの陳情を無視した杉並区議会議員は厳しく責任を問われます。

住民の切実な陳情を放置する杉並区議会…一方、 党区議団が委員長を務め審査率100%達成

区民生活委員会で徹底審査 今年度は都市環境委員会

杉並区議会では、住民が区議会に提出した陳情の審査率が極めて低く、問題になっています。陳情審査の判断は委員長に委ねられますが、歴代委員長の多くが、ほぼ審査せず放置「塩漬け」しています。審査されない陳情は、議員任期終了時に審議未了・廃案となります。

党区議団は委員長が交代する度に、速やかな陳情審査を求め続けてきました。しかし、状況が改善せず、前年度今議員任期が折り返しに入った段階で、党区議団が常任委員会委員長を務め、徹底審査を実施することを決断。前年度は区民生活委員会委員長を務め、全ての陳情を審査し、審査率100%を実現。今年度は都市環境委員会委員長を務め、積極的な審査を開始しています（表面）。

無責任な姿勢は許されない

都市環境委員会です3年間放置された陳情を審査した際、北委員（公明）が「今後、審査を委員長に求めたい」と発言。しかし、歴代委員長は公明・自民の会派が担っており、当時、陳情審査を求めたのにも関わらず、公明委員長が拒絶した経緯があります。極めて無責任な姿勢です。

さらに、山本議員（立無）は「陳情の願意を充たしたいのであれば、内容を変えて出し直すべきだった」とも発言。陳情審査せず3年間も塩漬けにした杉並区議会の議員として極めて問題のある発言です。

今後、会派の違いを超えて、全ての議員が速やかな陳情審査への努力を尽くすべきです。

杉並区議会の陳情審査状況

■令和2年度末（令和3年3月31日時点）

総数	審査数	未審査	審査率
97	11	86	11.3%

■令和3年度末（令和4年3月31日時点）

総数	審査数	未審査	審査率
130	27	103	20.8%

今週のコマ

操法大会選手（指揮者）を務めます

コロナ禍で中止が続いていた荻窪消防団操法大会が、今年度は実施されることになりました。

私は、今年度も操法大会選手（指揮者）を務めることになりました。区議会や選挙準備、夜間訓練・日曜早朝訓練等々、かなりハードな日々を過ごしていますが、体力勝負で頑張ります。嬉しいことに激務で体重が3キロ減りました（苦笑）。

先頭にいるのが私（指揮者）。



選択的夫婦別姓制度の国会審議を求める陳情 国会への意見書を賛成多数で採択

5月11日に開催された杉並区議会・区民生活委員会で「選択的夫婦別姓制度の国会審議を求める意見書を杉並区から国に提出することに関する陳情（4 陳情第10号）」が賛成多数で採択すべきものと決定。5月20日の本会議で全議員出席のもと採決にかけられ、採択されました。

杉並区議会では1998年6月に「選択的夫婦別姓制度の早期実現を求める意見書」が全会一致で可決され、内閣総理大臣宛に提出されています。その後、最高裁では2015年と2021年に夫婦同姓規定を合憲と判断する一方で、制度の在り方は「国会で論じられ、判断されるべき」と国会審議の必要性を重ねて指摘していました。

当該陳情は、選択的夫婦別姓制度についての国会審議が遅々として進まない状況に対し、杉並区議会から制度創設に向けた国会審議を推進するよう、あらためて求める内容です。

委員会採決では賛否同数となったため、最終的に委員長（共産：富田区議）判断で可決すべきものとして決定しました。

会派(※)	自杉	公明	自民	共産	連携	立無	無維	革新	正理
賛否	×	○	×	○	○	○	×	○	欠

(※) 自杉/自由民主党杉並区議団、公明/杉並区議会公明党、自民/杉並区議会自由民主党、共産/日本共産党杉並区議団、連携/無所属・少数会派連携、立無/立憲民主党・無所属クラブ、無維/自民・無所属・維新クラブ